

「生きる」と「伝え続けて40年」

枚方市

講座「生きる」とは、毎年さまざまな分野で活躍する4〜5人の講師を招き、それぞれの体験や生きざまを語ることで、差別や人権について、参加者自らの生き方の問題として考える場になれば、との思いで開催されてきた。過去には漫画家の水木しげるさんや絵本作家の田島征三さん、写真家の吉田ルイ子さんなども講師を務めている。

今年9月20日、落語家の林家染太さんが、中学時代に壮絶ないじめに遭った経験から、命の大切さ、いじめをなくす方法、人を傷つけない話し方、夢を追う大事さなどを話した。続く27日、「認知症の人と家族の会」の



落語家の林家染太さん

杉野さん夫婦が認知症の当事者として、人格を考慮した適切なサポートの必要性、家族や本人の思いを語った。

10月の講演は、5日「植物依存者を越えて」講師・倉田めばさん、12日「同一性障害を乗り越えて」講師・中尾勇守さんが予定されている。

【会場】サンプラザ生涯学習市民センター視聴覚室
【問】(特非)枚方人権まちづくり協会 ☎072-844・8788